

イノベーション企業  
ファイリング

識学

# ルール重視の組織運営指南

識学（7049）は経営者を対象に組織運営手法をコンサルティングする。明確な上下関係や成果評価といったルールを企業内で徹底させるのが特徴だ。組織運営上の無駄をなくすことで業績改善に結びつける。ノウハウのイノベーション企業として期待を集めている。

ネット通販のサイト作成から広告管理まで一括で手掛けるオールコネク（福井市）。数年前、不振が続く電話対応部署に

識学を導入後、3カ月で成績が上向いた。ピラミッド型の権力構造をとり、上下関係をはっきりさせたほか、社員には頑張っている姿ではなく成果だけで評価することを徹底した。今では社内に識学の研修チームを置く。オールコネクの岩井宏太社長は「識学は組織運営の基盤」と語る。

識学は「意識構造についての学問」に由来。人が誤解や錯覚を抱く原因と解決策に関する独

## 「識学の概要」

▽代表者	安藤広大社長
▽主な事業	独自の組織マネジメント論「識学」を使った経営、組織コンサルティング
▽設立/上場時期	2015年3月/19年2月
▽市場区分	東証マザーズ
▽時価総額	110億円（10月11日）

自の理論だ。「常識にも利益にもズレがある人間の集団で、ルールなしの運営は成り立たない」という考え方が中心にある。

「組織はフラット化すべきだ」「上司は部下のストレスをなくすよう配慮すべきだ」——。識学はこんな通説をことごとく否定する。社員におごりが生まれ、成果が出ないと上司や環境のせいにするといった緩みにつながるためだ。

残業削減が独り歩きする働き方改革も「間違っている」とはっきり。仕事の密度を高めて求められる成果を出して初めて労働時間を減らす権利は生まれる

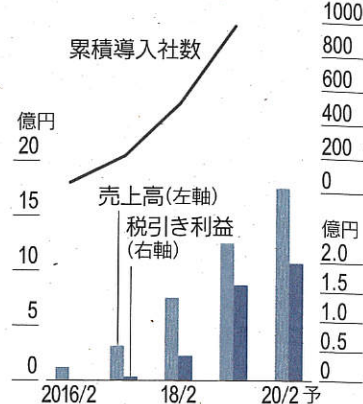
と説く。成果主義の徹底について、安藤広大社長は「頑張らざるを得ない環境を作らないと人は懸命に働かない」と語る。

安藤氏はかつて友人の誘いで識学の説明会を受講。所属企業で実践すると手応えがあったため、個人事業主として独立した。識学を世の中に広めたいと2015年に株式会社化した。

通説を疑う独自の理論は関心呼び、導入社数は19年2月期末で979社と前の期の約2倍。直近では1000社の大台を超えた。業績も堅調で20年2月期の単独税引き利益は前期比23%増の1億9900万円を見込む。



## 識学の単独業績



成長のカギは事業の肝となる講師の確保だ。現在30人余りで23年2月期には100人体制に拡充する狙い。部下を率いる課長や部長の経験のある人材を軸に採用を進めている。講師1人あたり最低年間5000万円の売上高を目安にすると50億円規模になる。M&A（合併・買収）支援などサービス領域の拡大にも着手している。（森国司）



識学は経営者層を対象にピラミッド型組織や成果評価の重要性を説く